

トラック輸送情報（平成18年9月分）

平成18年12月7日

国土交通省総合政策局情報管理部交通調査統計課

担当：浅見、安達 内線28315

直通：03-5253-8344

ホームページ：<http://toukei.mlit.go.jp/>

1. 特別積合せ貨物

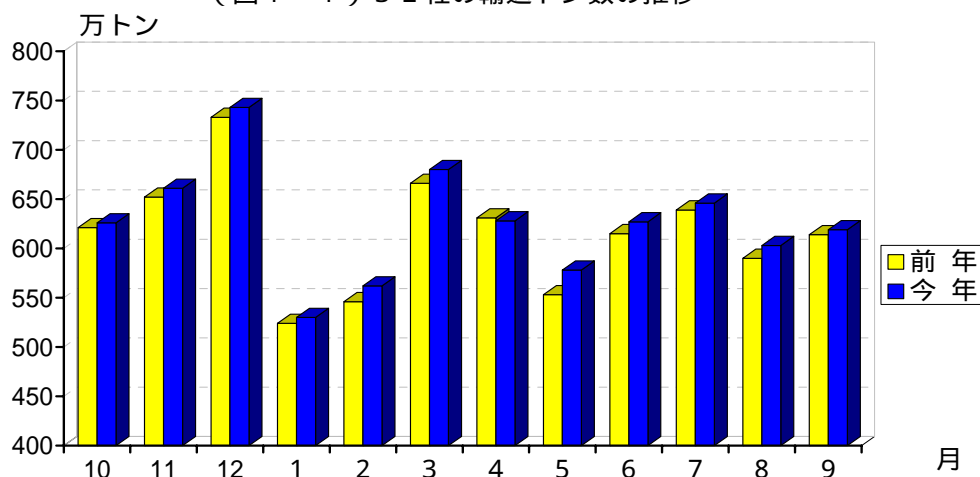
(1) 本月の概況

調査対象32社の本月の輸送量は、6,189,502トンで、前月と比べ、総輸送量が約16万トン増加したため、前月比102.7%（季節調整済み97.6%）、前年同月と比べ、約5万トン増加したため、前年同月比100.9%の実績であった。

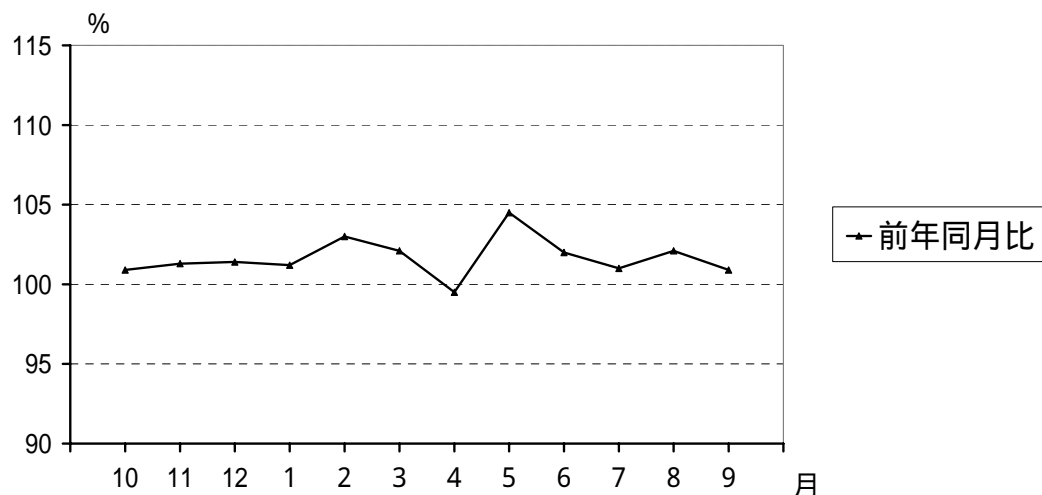
なお、平均稼働日数は23.6日で、前月と比べ0.3日の減少、前年同月と比べ0.1日の減少であった。稼働1日当たりの輸送量は、262,267トンで、前月と比べ、約1万トン増加したため、前月比104.0%、前年同月と比べ、約3千トン増加したため、前年同月比101.3%の実績であった。

（図1-1、図1-2参照）

（図1-1）32社の輸送トン数の推移



（図1-2）32社の輸送トン数の前年同月比

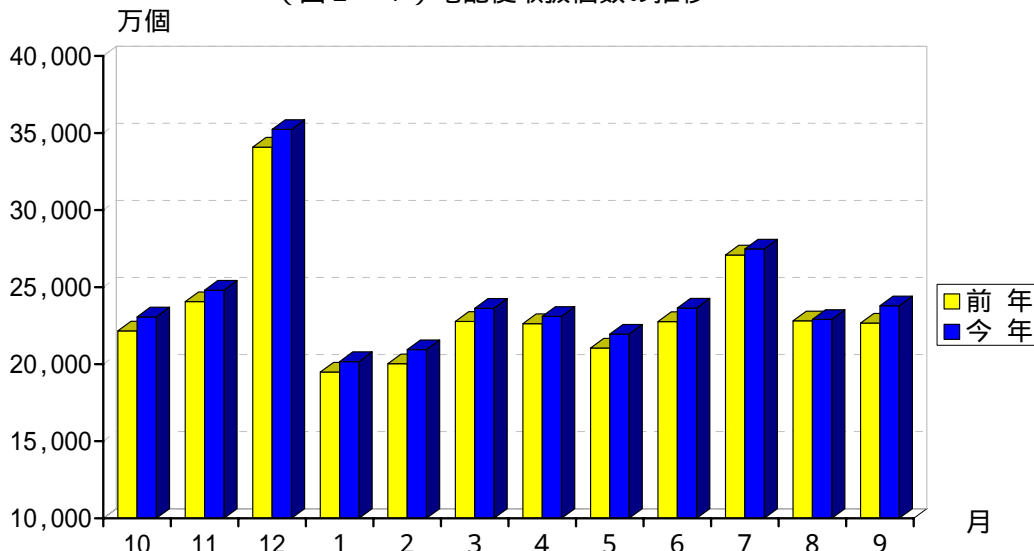


(2) 宅配便の概況

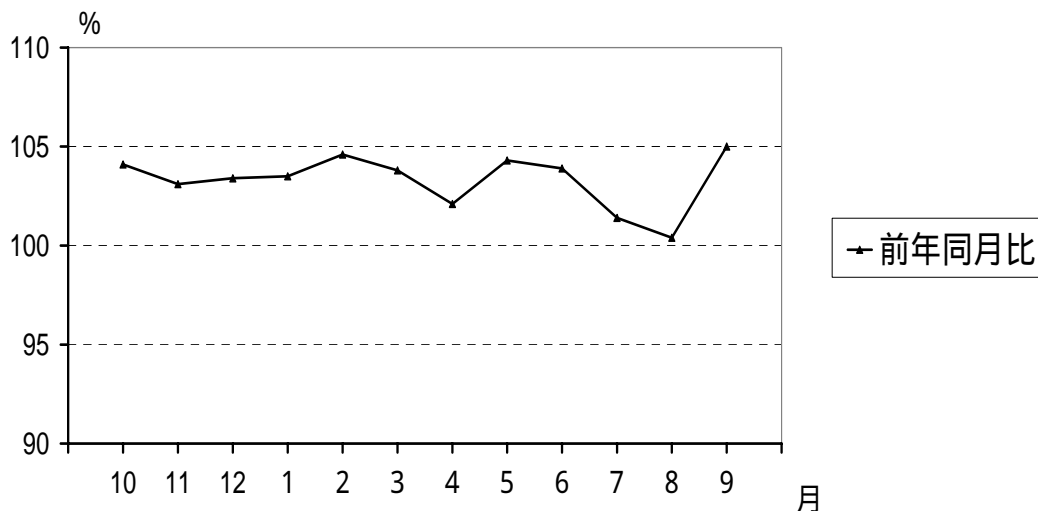
調査対象 19 社の本月の宅配便貨物の取り扱い個数は、237,901 千個で、前月と比べ、約 883 万個増加したため、前月比 103.9% (季節調整済み 102.8%)、前年同月と比べると、約 1,124 万個増加したため、前年同月比 105.0%の実績であった。

(図2-1、図2-2参照)

(図2-1) 宅配便取扱個数の推移



(図2-2) 宅配便取扱個数の前年同月比



(3) 品目別及び地域別輸送状況 (表1参照)

前月と比べると、8月のお盆休みによる輸送量減少からの反動や9月の決算期による輸送需要の増加等の影響によって、全般的に貨物量が増加した。理由としては、工場・生産地からの貨物増と季節的需要増であった。また、日用品は、商社・問屋からの貨物増と倉庫から出る貨物増もあった。地域的には、食料工業品は関東、愛知で、その他は関東で増加した。また、金属製品、機械、化学工業品、繊維工業品、日用品においては全国的に増加した。一方、農水産品は東京、神奈川、中国で、化学工業品は東京でそれぞれ減少した。

前年同月と比べると、若干貨物量が増加した。理由としては、工場・生産地からの貨物増であった。金属製品、化学工業品及び日用品においては、倉庫から出る貨物増もあった。また、機械及びその他は、景気の好況もあった。地域的には、化学工業品及び食料工業品が関東で、日用品が東京でそれぞれ増加した。また、金属製品、機械及びその他は全国的に増加した。一方、化学工業品が北陸信越、大阪で、繊維工業品が近畿でそれぞれ減少した。この結果、全体としては、対前年同月比 100.9%となった。

(表1) 品目別増減状況(回答事業者数 32社)

品目	増減事業者数					主な増減品目 (上段が増加・下段が減少)	主な増減地域	増減要因	
	著増	増	変らず	減	著減				
前 月 に 比 べ て	農水産品		2	12	3	1	野菜、青果物	東京、神奈川、中国	4
	金属製品		9	17	1		その他の金属製品	関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国	4, 8
	機械		12	15			その他の機械、機械部品	関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国、福岡	4, 7, 8
	化学工業品		11	16	3		その他の化学工業品	神奈川、関東、愛知、大阪、中国	4, 8
	繊維工業品		8	21			織物	東北、関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国	4
	食料工業品		4	22	1		その他の食料工業品	関東、愛知	
	日用品		11	15	3		書籍・印刷物、文具、その他の日用品	北海道、関東、大阪、近畿、中国	4, 5, 7
	その他		7	16	3	2		関東	
前 年 同 月 に 比 べ て	農水産品			16	1	1			
	金属製品		7	19		1	その他の金属製品	神奈川、関東、愛知、大阪、兵庫、中国	4, 7
	機械		6	18	3		その他の機械	関東地方、中部地方、大阪、中国、福岡	4, 9
	化学工業品	1	8	18	3		その他の化学工業品	関東	4, 7
	繊維工業品		6	20	3			近畿	4
	食料工業品		4	22	1		その他の食料工業品	関東	4
	日用品		6	17	5		その他の日用品	東京	4, 7
	その他		8	19	1		宅配便、百貨店配送品	神奈川、関東、愛知、大阪、中国、全国	2, 4, 9

(注) 「主な増減地域」については、16地域[全国、6大都市圏(東京、神奈川、愛知、大阪、兵庫、福岡)及び地方運輸局(6大都市圏を含む場合はそれらをのぞく府県、九州は沖縄を含む)]単位である。なお、地方運輸局に6大都市圏を含む場合は「～地方」と表記した。

増 減 要 因	1. 新規荷主獲得(荷主契約解除)	6. 倉庫へ入る貨物増(減)
	2. デパート、スーパーの貨物増(減)	7. 倉庫から出る貨物増(減)
	3. 他機関から貨物が来た(へ流れた)	8. 季節的需要増(減)
	4. 工場・生産地からの貨物増(減)	9. 景気の好況(不況)
	5. 商社・問屋からの貨物増(減)	10. その他

2. 一般貨物

(1) 本月の輸送状況

全国の一般貨物トラック事業者（本月の回答事業者数 838 社 / 調査対象事業者数 1,069 社）の輸送量は、前月比 105.4%、前年同月比 102.4%であった。

(表2) 地方運輸局別 前月比・前年同月比

	全国	北海道	東北	関東	北陸信越	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄
前月比	105.4%	111.7%	102.3%	104.5%	103.6%	105.2%	106.6%	104.7%	100.8%	103.1%	91.8%
前年同月比	102.4%	102.4%	101.7%	103.6%	100.7%	100.3%	101.7%	99.6%	111.2%	101.6%	101.0%

(2) 本月の地方運輸局別管内輸送状況（各運輸局より回答のあったもの）

北海道	<p>本月の輸送は、対前月比は 111.7%、対前年同月比は 102.4%であった。品目別には、農産物が収穫期を迎えたため、「野菜・果物」、「その他の農産品」の輸送量が増加した。また、建設関係の需要増により、「砂利・砂・石材」、「セメント」の輸送量が増加し、その他、「水産品」、「動植物性飼・肥料」の輸送量も増加した。一方、「石炭」、「その他の石油製品」、「食料工業品」等の輸送量が減少した。今後の輸送見通しとしては、次月及び以降ともに増加傾向と予想される。</p>
東北	<p>本月の輸送は、対前月比 102.3%、対前年同月比 101.7%であった。品目別には、稲作等の農作物収穫期を迎えたため、「穀物」の輸送量が増加した。その他、「工業用非金属鉱物」、「セメント」、「その他の窯業品」、「その他の製造工業品」等の輸送量も増加した。一方、季節的需要のピークを過ぎた「野菜・果物」、「食料工業品」等は減少した。今後の輸送見通しとしては、次月及び以降ともに増加傾向と予想される。</p>
関東	<p>本月の輸送は、対前月比 104.5%、前年同月比は 103.6%であった。品目別には、「水産品」、「砂利・砂・石材」、「日用品」、「動植物性飼・肥料」の輸送量が増加した。一方、季節的需要減により、「野菜・果物」、「その他の農産品」、「食料工業品」の輸送量が減少し、また、「紙・パルプ」の輸送量も減少した。今後の輸送見通しとしては、次月は減少傾向、以降は横這い傾向と予想される。</p>
北陸 信越	<p>本月の輸送は、対前月比 103.6%、対前年同月比は 100.7%であった。品目別には、米の出荷が始まったことにより、「穀物」の輸送量が増加し、また、「金属製品」、「機械」、「その他の窯業品」、「取り合せ品」等の輸送量も増加した。一方、「その他の石油製品」、「食料工業品」等の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに横這い傾向と予想される。</p>
中部	<p>本月の輸送は、対前月比 105.2%、対前年同月比は 100.3%であった。品目別には、輸出入の増加により、「繊維工業品」の輸送量が増加し、その他、「機械」、「その他」等の輸送量が増加した。一方、「その他の化学工業品」の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに横這い傾向と予想される。</p>
近畿	<p>本月の輸送は、対前月比 106.6%、対前年同月比は 101.7%であった。先月の輸送減の反動と中間決算のための在庫調整が影響したと思われる。品目別には、「その他の化学工業品」、「食料工業品」等の輸送量が増加した。一方、「その他の製造工業品」、「その他」等の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月は減少傾向、以降は横這い傾向と予想される。</p>
中国	<p>本月の輸送は、対前月比 104.7%、対前年同月比は 99.6%であった。品目別には、自動車関連製品の輸送が好調なこと及び荷主の稼働日数増加の影響により「鉄鋼」、「その他の製造工業品」の輸送量が増加し、輸出入の増加により、「その他」の輸送量が増加した。一方、「畜産品」、「食料工業品」、「日用品」等の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月は横這い傾向、以降は増加傾向と予想される。</p>
四国	<p>本月の輸送は、対前月比 100.8%、対前年同月比は 111.2%であった。品目別には、季節的需要増により「野菜・果物」の輸送量が増加し、その他、「機械」、「紙・パルプ」、「食料工業品」、「その他の製造工業品」の輸送量も増加した。一方、「穀物」、「砂利・砂・石材」、「セメント」、「揮発油」、「輸送用容器」等の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月は横這い傾向、以降は増加傾向と予想される。</p>
九州	<p>本月の輸送は、対前月比 103.1%、対前年同月比は 101.6%であった。品目別には、建設関係の需要増により、「砂利・砂・石材」、「セメント」の輸送量が増加し、その他、「鉄鋼」、「その他の窯業品」、「日用品」、「その他の製造工業品」、「廃棄物」等の輸送量も増加した。一方、減少した品目は、季節的需要減により、「野菜・果物」、「食料工業品」の輸送量が減少し、その他「畜産品」、「揮発油」、「化学肥料」等の輸送量が減少した。今後の輸送見通しについては、次月は横這い傾向、以降は増加傾向と予想される。</p>
沖縄	<p>本月の輸送は、対前月比で 91.8%、対前年同月比は 101.0%であった。品目別には、季節的需要増により、「野菜・果物」、「その他の農産品（葉たばこ等）」の輸送量が増加し、また、「金属鉱」、「食料工業品」、「取り合せ品（雑貨）」の輸送量も増加した。一方、「水産品（マグロ）」、「鉄鋼（鋼材）」、「金属くず（鉄くず）」の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月は横這い傾向、以降は増加傾向と予想される。</p>

(3) 運輸局別、品目別増減状況(対前月比)

回答のあった事業者数を取りまとめた。各欄のうち上段は増加、下段は減少件数である。

品目		運輸局		北	東	関	北	中	近	中	四	九	沖	全
		海	道	海	道	東	陸	部	畿	国	国	州	縄	計
1. 穀物	増	3	5				2			2		2		14
	減	2	1							1	1	3		8
2. 野菜・果物	増	6	2				1			2	4	3	1	19
	減		4	2	1					1		5		13
3. その他の農産品	増	4				1				1		2	1	9
	減		1	2								3		6
4. 畜産品	増													
	減									1		2		3
5. 水産品	増	4	1	1										6
	減		1										1	2
6. 木材	増	2	1				1			2		3		9
	減	2	3				1			1		2		9
7. 薪炭	増													
	減													
8. 石炭	増													
	減	2	1											3
9. 金属鉱物	増		1										1	2
	減		1											1
10. 砂利・砂・石材	増	17	1	1	1				1	2		5		28
	減	3	1				1		1	2	1	3		12
11. 工業用非金属鉱物	増		3											3
	減													
12. 鉄鋼	増	1	2				1		1	4		4		13
	減	1							1			1	1	4
13. 非鉄金属	増													
	減		1				1							2
14. 金属製品	増	2	2				2	1	1	3				11
	減								1	2				3
15. 機械	増	1	2	2	3	4	2	2	1	4	3			22
	減				2				2	1		2		7
16. セメント	増	4	4				1			2		6		17
	減		1				1				1	1		4
17. その他の窯業品	増		3				3	1	1	1		5		14
	減						1		1					2

品目	運輸局	北海道	東北	関東	北陸信越	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄	全国計
		18. 揮発油	増									
	減	1			1				1	2		5
19. その他の石油製品	増	1	1					1				3
	減	4	1		3							8
20. コークス・ その他の石炭製品	増	1			1					1		3
	減											
21. 化学薬品	増	1	1					1				3
	減				1					1		2
22. 化学肥料	増	1							1			2
	減							1	2			3
23. その他の化学工業品	増						2	1				3
	減		1		1	1		1				4
24. 紙・パルプ	増	2	1		1			1	2	2		9
	減	1	1	3								5
25. 繊維工業品	増					2						2
	減											
26. 食料工業品	増	1	1	1			3	2	3	2	1	14
	減	3	8	3	3		1	3	2	5		28
27. 日用品	増	1	1	2	1	1	1	1		3		11
	減	2	1	1		1	1	2				8
28. その他の製造工業品	増		3			1		4	1	3		12
	減			1			1	1				3
29. 金属くず	増											
	減										1	1
30. その他のくずもの	増											
	減											
31. 動植物性飼・肥料	増	4		1		1				2		8
	減	1								1		2
32. 廃棄物	増		2							6		8
	減									3		3
33. 輸送用容器	増	1										1
	減								1	1		2
34. 取り合せ品	増				2		1	2		1	2	8
	減	1						1			1	3
35. その他	増		1		1	5		5		2		14
	減					1	3		1			5